

平成 25 年度 事業報告

公益財団法人 佐賀県消防協会は佐賀県民の生命、身体及び財産を火災その他の災害から守るため、消防思想の普及啓発、消防団員等の士気の高揚、消防の団結力を高め、消防技術の向上を図るための事業を行った。

1 公益目的事業 1 (消防思想の普及啓発、消防団員の士気の高揚等の推進)

(1) 第 60 回佐賀県消防大会の開催

平成 26 年 3 月 16 日 (日) 佐賀県との共催で、伊万里市民会館で開催した。
(参加人員 700 名)

第 1 部

(受章披露)

- ◇叙位、叙勲、褒章 30 名
- ◇県政功労者知事表彰 1 名
- ◇消防庁長官表彰 永年勤続功労章 36 名
消防団地域活動表彰 1 消防団

◇日本消防協会表彰

- ①表彰旗 1 消防団 ②竿頭綬 3 消防団

◇消防団 120 年・自治体消防 65 周年記念表彰

- 内閣総理大臣表彰 1 名・1 団
- 日本消防協会表彰 ①婦人消防隊育成成功労者表彰 1 名
②永年勤続功労者表彰 3 名
③消防団家族表彰 3 組
- 全国消防長会長表彰 1 名
- 日本防火協会会長表彰
①優良幼年消防クラブ 1 団体
②優良婦人防火クラブ 1 団体

(表 彰)

- 佐賀県知事表彰 ①功労章 25 名②永年勤続功労章 41 名
③感謝状 9 名、優良幼年消防クラブ 3 クラブ
④優良女性防火クラブ指導員 1 名
⑤優良女性消防隊 1 団体

○佐賀県消防協会定例表彰

- ①表彰旗1団・ ②竿頭綬（施設）3消防団・（教養）3消防団
（無火災）6消防団 ・ ③功績章64名・ ④永年勤続章179名
⑤表彰状（女性消防団員）13名・ ⑥感謝状16名

○「防火に関する標語」入賞者 24名（小中高生）

※小学生入賞者には父兄も同伴し、消防大会を熱心に見学していた。

（宣言決議）・・・崇高かつ伝統ある消防精神にのっとり、火災を始め
あらゆる災害から県民の生命・身体・財産を守ることを誓う。

第2部

（消防団員意見発表）

「自主自立の消防団活動を目指して」伊万里市消防団 分団長 池田義幸
「消防操法大会に出場して」鳥栖市消防団 班長 山下美知
「ほうれんそう」大町町消防団 部長 中島雄二
「私の消防団活動に対する考え方」多久市消防団 副分団長 野口重光

最後に火災予防と県内消防団のより一層強固な団結力と士気の高揚を図るため、参加者全員で「火の用心」三唱と「佐賀県消防の歌」を高らかに斉唱した。

(2) 第32回全国消防殉職者慰霊祭

平成25年9月12日（木）、東京都のニッショーホールで開催された。本県からも遺族4名と協会長、事務局が出席した。

(3) 広報宣伝

○ 消防思想の普及、防火啓発事業

消防防災意識の向上と防火防災思想の普及促進を図るため、一般市民等への貸出用DVD小学低学年向け「火遊びは火事のもと」一般向け「火災から命を守る8つのポイント」「相次ぐ高齢者住宅火災・・・身近に潜む火災の危険」を購入整備し、整備状況等については協会ホームページに公開した。

○ 消防団員加入促進

地域防災の要である消防団員の確保のため、ホームページに常時、団員確保のお願いを掲載している。

(4) 表彰

○ 佐賀県消防協会定例表彰

県内の優良消防団（団員）・消防職員・消防協力民間団体を規定により表彰し、佐賀県消防大会において披露した。また、協会ホームページでも公表した。

・表彰審査会 平成 25 年 12 月 20 日（金）

○ 日本消防協会定例表彰

日本消防協会表彰基準に基づき該当消防団・職団員を上申した。

・表彰審査会 平成 25 年 8 月 8 日（木）

○ 消防団 120 年・自治体消防 65 周年記念表彰

消防団 120 年・自治体消防 65 周年記念事業が平成 25 年 11 月 25 日（月）東京ドームで開催されるに当たり、記念表彰が実施されるため、下記の対象者を推薦した。

① 婦人消防隊育成功労者表彰 1 名

② 永年勤続功労者表彰 3 名

③ 消防団家族表彰 3 組

(5) 消防団 120 年・自治体消防 65 周年記念大会

平成 26 年 11 月 25 日（月）東京ドームで天皇皇后両陛下の出席のもと開催された。

佐賀県内各消防団等から 401 名が参加した。県協会事務局では大会当日、早朝から現地（東京ドーム）での集合体制（入場隊列等）をとるため、市町職員等の協力を得て事務局総動員で対応した。

2 公益目的事業 2（消防力を強化し、県民の安全・安心に寄与する）

(1) 消防操法大会

○ 第 32 回佐賀県消防操法大会

平成 25 年 7 月 28 日（日）、有明佐賀空港多目的広場で開催した。競技種目は①小型ポンプ操法②訓練礼式③自治体消防 65 周年記念特別披露各種操法で実施した。参加人員は一般見学者を含めて 1400 名であった。

☆成績☆

（小型ポンプ操法の部）

◎優勝 太良町消防団 ・2 位 佐賀市中部方面隊 ・3 位 伊万里市消防団

（訓練礼式の部）

◎優勝 唐津市消防団（浜玉支団）

(記念操法)

◎腕用ポンプ操法(唐津市消防団浜玉支団) ◎瓦おとし操法(唐津市消防団相知支団) ◎馬簾回し(神崎市消防団) ◎馬簾回し(吉野ヶ里町消防団)

○第21回全国女性消防操法大会

平成25年10月17日(木)横浜市で開催され、佐賀県代表として出場した基山町女性消防隊は見事、優良賞に入賞した。

(2) 消防力強化促進

○第13回佐賀県女性消防団員活性化セミナー

平成26年2月2日(日)基山町民会館で開催した。

消防団において予防活動、広報活動、救護活動等を担う女性消防団員の知識・技術の向上、団結力の強化を目的として実施した。

式典では佐賀県危機管理・報道監代理として県消防防災課 元村課長、地元、小森基山町長、鳥飼基山町議会議長の挨拶があり、引き続き、第1部、消防基金 藤津講師による「消防団員安全管理セミナー」が開かれた。午後からは5消防団から活動報告があり、15時に終了した。参加人員は380名。協会ホームページに詳細は公開している。

○第18回全国女性消防団員活性化ぎふ大会

平成25年10月30日(水)岐阜県高山市 飛騨・世界文化センターで開催された。佐賀県の参加人員は佐賀市消防団、伊万里市消防団、神崎市消防団、吉野ヶ里町消防団、有田町消防団から45名が参加した。県協会として大会参加に向け、情報提供、岐阜県消防協会との調整を実施し、大会当日、担当職員を派遣し支援した。また、伊万里市消防団女性部宮崎部長が「伊万里市消防団女性部の活動について」報告した。

(3) 教養訓練等

○消防団幹部地区別研修会

消防団員を指揮監督する立場の消防団幹部(団長・副団長)の消防団の現状認識や問題意識の共有、情報交換を目的として実施した。

| | | |
|---------------|--------------|-----|
| 平成26年1月15日(水) | 鳥栖市役所会議室 | 33名 |
| 平成26年1月17日(金) | 伊万里市民センター会議室 | 47名 |
| 平成26年1月21日(火) | 小城市役所会議室 | 42名 |
| 平成26年1月24日(金) | 嬉野市中央公民館集会室 | 40名 |

○消防団長研修

平成 25 年 5 月 24 日（金）「グランデはがくれ」（佐賀市）において、県と共催で消防団長会議を開催し、会議終了後の研修会では、平成 25 年度佐賀県消防職員意見発表会の入賞者 3 名による意見発表と鳥栖市消防団 篠原 啓泰団長による「鳥栖市消防団の現状と今後の方向性について」の消防団長意見発表があった。

○日本消防協会主催の各研修会への参加者を選考（各地区消防協会長の推薦）し、該当者に対し助成を行った。

- ・ 消防団幹部特別研修（団長・副団長） 太良町消防団長 堀口久則
- ・ 消防団幹部候補中央特別研修（男） 唐津市消防団 米田幸補
江頭範泰
- ・ 消防団幹部候補中央特別研修（女） 玄海町消防団 渡辺関則
吉野ヶ里町消防団
井上陽子
戸塚陽子

3 公益 1・2 共通事業

- 消防協会九州ブロック協議会 平成 25 年 8 月 22 日（木） 宮崎市
- 都道府県消防協会事務局長会議 平成 25 年 9 月 27 日（金） 日消会館
- 都道府県消防協会事務局長会議 平成 26 年 2 月 21 日（金） 日消会館
- 日本消防協会役員会議（代議員会）平成 25 年 5 月 22 日（火） 日消会館
- 日本消防協会役員会議（代議員会）平成 26 年 2 月 28 日（金） 日消会館

4 公益・その他事業

(1) 防火ポスターの募集

県内小中生を対象に各消防本部を通じて募集するもので、各消防本部は県協会の募集要項に基づき管内各小中校に応募をお願いする。応募した作品の中から 2 点を選考し県協会に提出、その中から 2 点を選び日本消防協会選考会に応募した。

日本消防協会での審査結果、佐賀市鍋島中学校 3 年池田知恵さんが最優秀賞を受賞され平成 25 年 12 月 25 日（水）日本消防会館会議室で表彰式が実施された。県協会事務局からも 1 名随行した。また、県協会に応募した全作品に協会長表彰（記念品授与）を実施した。

(2) 防火標語の募集

佐賀県等と共催で県内小中高生を対象に防火標語の募集を実施する。入賞

者は佐賀県消防大会で表彰した。

(3) 弔慰金の贈呈

県協会会員である消防職団員が死亡した場合、遺族に弔慰金を贈呈している。今年度は13名の遺族の方に贈呈した。

(4) 消防団員支援優遇制度

消防団員確保対策として、消防団員、その家族が県内日観連加盟のホテル、旅館、温泉施設等を利用した場合、料金が割引される制度で、この制度の充実に努めた。

(5) 日本消防協会が実施する消防団員福祉共済事業等

○ 消防団員福祉共済事業(福祉共済・火災共済・互助年金)の給付事務並びに加入促進を実施した。

○ 福祉増進事業

消防団員福祉共済に加入者を対象に消防団員の健康保持を目的として健康器具等の購入配布を実施した。また地区消防協会内で団員の健康増進を目的として実施した2地区(松浦地区・杵藤地区)のスポーツ行事に助成を行った。

5 法人管理

(1) 理事会

| | |
|----------------|----------|
| 平成25年5月14日(火) | 佐賀県自治会館 |
| 平成25年5月24日(金) | グランデはがくれ |
| 平成25年12月20日(金) | 佐賀県自治会館 |
| 平成26年3月6日(木) | 佐賀県自治会館 |

(2) 評議員会

| | |
|---------------|----------|
| 平成25年5月24日(金) | グランデはがくれ |
| 平成26年3月20日(木) | 佐賀県自治会館 |

(3) 市町消防団事務担当者会議

平成25年9月25日(水)日本消防協会柴垣事務局長の出席を要請し、市町消防事務担当者に対し、日本消防協会の各種事業等について説明、また、事業に対する協力要請等を行った。

(4) 法人管理業務

公益財団法人佐賀県消防協会の運営に関して、必要な管理業務を行った。